

もうすぐ

秋季大運動会

10月2日(日)は運動会です。今月の学校だよりでは、低・中・高学年それぞれの表現種目を中心に、がんばって練習している子供たちの様子や演技の見どころをお届けします。



●運動会マスコット○

とうしをもやせトウガラシ VS

無敵のパワー塩むすび

代表委員会から運動会マスコットの発表があり、イラストを考えた4年生の塩野谷魁人さんから、マスコットに込めた思いが発表されました。

『とうしをもやせトウガラシ』は、最後まであきらめないで、気合いを入れて「戦うぞ!」と

いうのを表しています。トウガラシは、食べると口の中が燃えて力が出るから、赤組にびったりだと思います。『無敵のパワー塩むすび』には、「ぜたいに負けないぞ!」という強い気持ちをもって、勝ちにいくことを表しています。白と言えば、ごはん!中でも塩むすびを食べると元気がわいてくるので白組にびったりだと思います。(4年1組 塩野谷 魁人)



中学年

力をあわせて



今年度、3・4年生はよさこい鳴子踊りに挑戦します。よさこい鳴子踊りは高知県にて63年前にできた民舞です。今では、全国各地で踊られています。近い場所では、毎年8月末に表参道にて「スーパーよさこい」という大きな祭りが行われています。

よさこい鳴子踊りの大きな特徴は、武政英策氏作曲「よさこい鳴子踊り」のフレーズを音楽の中に入れること、そして鳴子を使って踊ることです。この約束にならい、前半は高知商工会議所・よさこい祭振興会が作成しているDVDに収録された「よさこい鳴子踊り」を、3・4年生の動きにアレンジして踊ります。後半は、子供たちがよく知っている「夏祭り」の音楽に合わせて元気よく踊ります。応援よろしく願いいたします。

(4年担任: 入来 祐有)



低学年 元気いっぱい! 力いっぱい!



子供たちの大好きな「勇気100%」の曲で、オリンピックカラーのスカーフをもって、踊ります。踊りを覚えると、スカーフをしっかりと動かそうと、腕や手を伸ばすことを意識して練習に励みました。元気いっぱい、力い

っぱい体を動かして踊る様子にご注目ください。

1年生は「ダンシング!玉入れ」をします。「チェッチェコリ」の音楽に合わせて思いきり踊ったり、玉入れをしたりします。

2年生は「心をひとつにかけぬけろ!~台風の目~」では、棒の持ち方やボールのまわり方、各自の役割などを子供たちで話し合い、声をかけあいながら練習をしてきました。どの練習にも全力で取り組んできた低学年への応援をよろしく願います。

(2年担任: 緒方 理子)



高学年

一つの力を みんなの力に!



今年度は、表現運動が中心となる演技にチャレンジし、コンセプトは「生命(いのち)」です。この世に一つの命が生まれ落ち、成長し誰かとの出会い、様々な感情が芽生え、そして希望を胸に、訪れる困難や抱く夢に向き合いながら生きていく。そして、いつかは終わりが来るけれど、それは永遠の終わりではなく、また別な生命として誕生し繋がり生きてい

く。そんな世界を子供たちは、今の自分に向き合いながら精一杯演じます。大きく分けて起承転結の4つの構成から成り立っています。「転」では、更に4つの心を表現します。子供から湧き出る感情の世界にぜひ浸ってください。そして、一緒に感じてください。

その他に、応援団長を大将に騎馬戦での熱い戦いや、100m走、代表児童による高学年リレーが行われます。どの種目でもきらりと光る子供たちに、たくさんの声援をお願いします。

(6年担任: 本間 美里)

道徳授業地区公開講座

ともに生きる

9月17日(土) 学校公開日

本校の学校目標である「力を合わせて やりとげる子」を基盤に、道徳授業テーマを「ともに生きる」として各学級で授業を実施いたしました。どの学級の子供たちも、テーマに即した資料を通して、礼儀や親切、友情など、他の人との関わりについて、自分の思いを表現したり、友達の思いを確かめたりしながら、考えを深めていました。今後とも道徳授業を

要として、御成門小の子供たちの心を育てていきます。

3校時には御成門中学校にて、東京女子体育大学教授小林福太郎先生の講演会がありました。授業や講演会で扱った内容について、ご家庭でも話し合ってください。当日はご参観いただき、ありがとうございます。

(道徳主任: 川西 洋介)



応援団・リレー選手

気迫で盛り上げろ! 心のバトンをつなげ!

「フー!フー!・・・」国際科室から校舎内の端から端まで響きわたるような大きな声が聞こえてきます。今年は体育館の工事により、国際科室での練習が多くなってしまいました。しかし、そんな状況でも子供たちは一生懸命に運動会を盛り上げるために試行錯誤を繰り返しながら、始業前、中休み、昼休みに毎日練習を積み重ねてきました。

リレーの練習では、各学年の代表の子供たちが熱心に取り組んでいます。低学年・高学年ともに上級生がリーダーシップを発揮し、下級生を引っ張っています。繰り返し練習してきたバトンパスにも注目していただきたいです。

(応援団担当: 大野 航)



環境教育(4年)

マンホールのふたの 不思議!

9月3日(土)

ゲストティーチャーとして東京都下水道局の方をお招きして、「下水道」について学習しました。学校や家庭から出された汚れた水のゆくえについてのお話をうかがったり、下水道管についても学習したりしました。人が入る管は入って点検やそうじをし、入れない細い管については専用のカメラを管の中に入



れて、パソコンで確認しているそうです。係りの人が管の中に入るといことで子供たちは大変驚いていました。下水道の正しい使い方についても教えていただき、みそ汁は流さない、食器を洗う前にペーパーで汚れをふき取るなどしてオイルボールを作らないよう、自分たちができることから始めようということでもとまりました。水循環について考えるきっかけになりました。(4年担任: 大阿久)